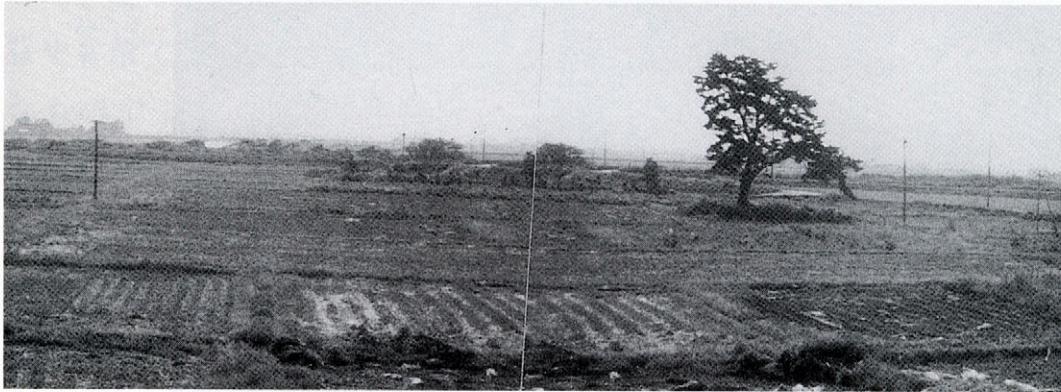


農業機械が急速に進歩する中で、能率の良い作業ができるように、農地を集め、1まい1まいの区画がせまいものから広いものへ、そして、農道や用水路、排水路などの整備が必要になってきたわけです。



▲整備前（桧ノ目地区）



▲改良後（桧ノ目地区）

(3) 事業の様子

新鶴村では、昭和56年（1981年）に事業が始まり、平成6年（1994年）に終わりました。新鶴地区、佐賀瀬地区、佐賀瀬第二地区の3つに分けられて事業が進められました。あわせて、総面積およそ900ヘクタール（土地全体のおよそ4分の3）、総事業費およそ71億円にもものぼっています。